

地域とともに育つ子どもたち

学校支援地域本部事業は地域風土を変える引き金になる！



新居浜市立泉川公民館長

今西 光昭

泉川校区の現状

愛媛県新居浜市(人口125,000人)の中央部の商業・住宅地

人口 11,600人 (小学校・中学校 各1校)

特色ある活動は...

学校支援地域本部事業

放課後子ども教室

国道バイパスアダプトプログラム

キャッチフレーズは、“自分達の町は、自分達の手で”

徐々に新しいまちづくりが広がる！

今年度の取組み事例①

泉川小学校での読み聞かせ教室

- 毎週金曜日の朝の時間の20分間、地域の有志が低学年に絵本を読み語る会を開いている。

事業実施のポイント

- ① 子ども達と直接触れ合う機会をつくること
➡汗をかくことが中心だったが、頭も使おう。
- ② 学校に地域の人が気軽に入っていける環境をつくること
➡子ども達の落ち着きを取り戻すことに繋がる。
- ③ 学習した成果を活かして自己実現に繋ぐこと
➡図書館司書から読み聞かせの基本を学ぶ。

子どもの笑顔と真剣なまなざし 落ち着いた教室

読み聞かせ教室の風景

瞳の輝きが違います！



今年度の取組み事例②

泉川小・中学校連絡会

- 毎月1回、小中学校の教師、PTA、地域の各種団体役員が公民館に集まり、学校の現状や課題について情報交換。

事業実施のポイント

- ① 学校側から生の子ども達の状況を伝えること
→ これまでは隠していたことも、話し合える関係になる。
- ② 地域にできることは積極的に関わるムードが高まったこと
→ 頼りにされれば、何とかしなければという気になる。
- ③ “遠慮”と“押し売り”の交通整理ができること
→ どこまでやるのが地域と学校両者のプラスになるか。

課題は“プライバシーへの配慮”と“相互理解”

小・中学校と地域の情報交換の機会拡充



泉川小・中学校連絡会

初めは中学校だけでしたが、今は小学校の参加も増え、中一ギャップの解消にも大きな役割を果たしています。



教育懇談会の一場面

ワークショップ(熟議)で子ども達の学校での情報交換し、何が自分達にできるのかを共に考え、実践に結び付けます。

今年度の取組み事例③

小・中学生が地域活動に参画

- 子ども達も地域の立派な一員であるとの認識のもと、自分達が地域に何ができるのかを考え、主体的に取り組む活動を地域が支えていく事業の機会を増やす。

事業実施のポイント

- ① 学校に言われて協力するのではなく、自分達でやること
➡お手伝いから脱却して、子どもが主人公になる。
- ② 子ども達が大人の目に触れる機会を増やすこと
➡子ども達が頑張っていることを認知してもらう。
- ③ 子どものタテ関係を再構築すること
➡上級生が下級生の面倒を見ることが当たり前になる。

地域活動がにぎやかになり、挨拶の輪が広がる

子ども達が地域活動に積極的に関与



年末の独居老人訪問



中学校生徒会主催の子ども祭り
女性生徒会長のあいさつから



バイパスの美化活動も真剣に



地域行事で歌を披露

あれはもう6年前のこと・・・忘れてしまいそうだが

私達が学校支援地域本部に 取組んだ理由は何だったのだろうか

- ① 子ども達の心と生活の乱れをなくす。
- ② 学校と地域の関係性を高めたい。
- ③ 地域の眠っている人材を発掘したい。
- ④ 教職員の負担を軽減したい。

➡ 「地域力」を再生したい！

支援活動の先駆けになったのは まずは「見守り」と「学校環境整備」

身に付けた技と時間から

古い飼育小屋を大改造した。



見守り隊と子ども達が
ふれあいを重ねる。





消防団が主役！
中学生が自治会と防災訓練

誰もができることから
チャレンジしてみる！

地域の高齢者が子ども達と
一緒に遠足に行く。



みんなの力を結集して学校美化大作戦

すべての活動の始まりはここから・・・

学校が地域に助けを求めてくれたことがきっかけ

まずは形から入ろう！

子ども達の荒れた心を整えるには・・・



地域のパワーが学校に結集した！

高所作業車もやってきて高木の剪定を行った。

「学校のために、力を貸してくれ」
その一言で、みんなが集まる不思議



学校が見違えるほどきれいになった。

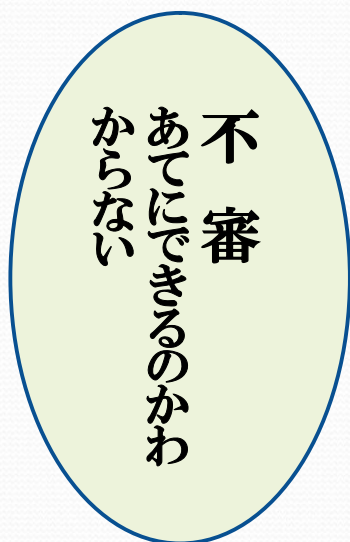
先生・生徒も一緒になって汗を流した体験こそ貴重

地域と学校の距離が
一気に縮まった！

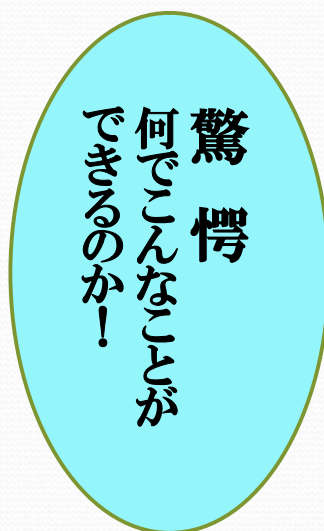


そして学校側の気持ちに変化が起こった！

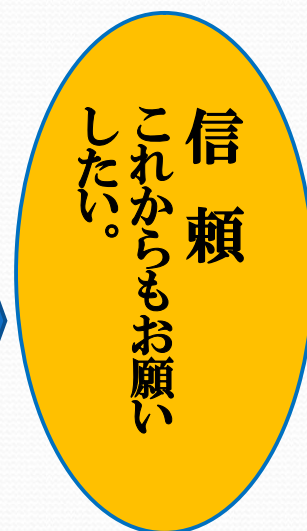
実施前



実施中



実施後



それでも消えない壁もある。大きなお世話という感情は残る。

コーディネーターが大きな役割を果たす

公民館は学校と地域の関係の地ならし役



★学校やその周辺で剪定作業大人の勤しむ後ろ姿を子どもが見る。



★地域コーディネーターと館長が校長等と頻りに雑談できる場づくり

➡ 校長・教頭も公民館に ➡ 関係性向上